にこにこ通信第１８９号

2010/12/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40　（有）沖商店　沖　昌弘
TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)　E-mail
FAX 0766-26-5500(ふろへごーごー)　oki2525@oki-shouten.com

謹啓　毎度格別のご贔屓に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。　謹白。

一　したたか中国

先日、「緑色戦争」と題して、中国への産業廃棄物処理装置の販売競争の様子を報道していました。対するは日本と韓国。熾烈なグリーンビジネス・汚染ビジネスの戦争です。

中国の経済成長は著しく目を見張るものがありますが、その裏で大気・水質・廃棄物汚染問題が大きく浮上しています。中国は日本と韓国を手玉に取り、廃棄物処理装置の技術をただで手に入れようとしています。即ち、将来の中国国内での販売シェアーの有利性を餌に、共同研究の名の下、そのノウハウだけを盗もうと言うものです。

先ず、韓国が引っ掛かりました。韓国は以前から、優秀な者を集め英才教育を施したり、国の官僚が率先して輸出に力を入れたり、国家的プロジェクトとして、国挙げて国際競争に臨んでいます。今回も集塵機・廃液処理装置で韓中の共同開発事業発足に際し、「利益の追求はしない」という条件の契約書にサインしました。装置も技術もただで提供すると言うことです。こんな調子で韓国はどんどん先行するものですから、今日、部門によっては、日本が韓国に敵わない技術も誕生しているそうです。

これに対し日本やドイツは国家プロジェクトではなく個人企業単位で奮戦しています。日本側の代表選手は大阪市大正区の「大和化学工業」。社長の土井潤一氏は中国から「高い技術の日本製品（装置）はコストも高い。性能が悪くても現状の間に合えばよい」などと言われ、韓国の国挙げての技術無料提供にも対抗して、この度、北京大学へ１２〇〇万円もする廃液装置を無料で提供したばかりか、さらに３〇万元（３６〇万円）の現金まで寄附したと報道されていました。裏でよほど有利な約束がされているのだとは思いますが、なんともやるせない思いがします。韓国側政府も日本側「大和化学工業」も、大切な技術の流出を充分認識しながら、中国側の策略に自ら釣り上げられていくのは何処か間違っていると私は思うのですが。番組最後の土井潤一社長の「深く考えていない。考えたら足が止まる」の言葉が心に残りました。

「富山方言番付」

東の前頭「かちゃかちゃ」＝形容詞

意味＝物が散らかし放題になっている様子。雑然とした様子。混乱した様子。乱雑に壊された様子。滅茶苦茶。

「部屋の中、かちゃちゃなっとっぜ」＝「部屋の中が散らかし放題になってますよ」。

「忙して、頭の中もかちゃかちゃやて」＝「忙しくて頭の中も混乱してます」。

「精魂込めて作っとった畑、かちゃかちゃになっとった」＝「精魂込めて作っていた畑が、滅茶苦茶に壊されていました」。

同じ意味の言葉

「かっちゃかちゃ」

「がちゃがちゃ」「がっちゃがちゃ」

「ぐちゃぐちゃ」「ぐっちゃぐちゃ」

「くちゃくちゃ」「くっちゃくちゃ」

「ごちゃごちゃ」「ごっちゃごちゃ」

「めちゃくちゃ」「めっちゃくちゃ」

「わやわや」　「わっやわや」

「あじゃあじゃ」「あっじゃあじゃ」

西の前頭「きっちーっと」＝形容詞

「かちゃかちゃ」の反対語

意味＝整然と。きちんと。

「部屋、きっちーっとまたいしてあっね。えらい、えらい」＝「部屋が整然と整理されていますね。立派、立派」。